

V. 特記事項

1. 国際交流活動

国際経営学部と教育学部で構成する本学において、国際交流活動は重要な活動として位置づけられている。学内には「国際交流センター」が設置されており、その活動は「国際交流センター運営委員会」の教職員によって運営されている。【資料特-1-1】

これまでの実績としては、開学時より実施してきた英語スピーチコンテストの運営や、アメリカ・カリフォルニア州パサディナ市青年商工会議所との交流を行っている。さらに平成29(2017)年度には、アメリカ・テキサス州オースティン市のオースティンコミュニティーカレッジ(ACC)の学生との交流を行った。【資料特-1-2~4】

また、学内の留学生に対して地域の様々なイベントへの積極的な参加を促し、留学生の地域内における国際交流活動を奨励している。具体的な実績としては、①春日部市内の「平和フェスティバル」へのボランティア参加、②春日部市と共同実施している日本語スピーチコンテスト出場学生の指導、③春日部市内のイベント(神輿担ぎや大凧揚げ)への参加、④埼玉県内プロ卓球チーム(T.T 彩たま)のホームゲームにおける大会運営のボランティア参加、⑤春日部市内古利根川の清掃活動への参加があげられる。これらの活動に関しては、国際交流センター所属の教員が引率指導をしている。【資料特-1-5~10】

さらに国際交流センターは、学生の海外留学や語学研修への積極的な参加を奨励している。アメリカのセイクリットハート大学、カナダのヨーク大学、オーストラリアのサザン・クイーンズランド大学、マレーシアのサンウェイ大学の4大学と学術交流協定を締結しており、本学から毎年数名の学生が、8週間から1年間の中長期留学を行っている。【資料特-1-11~15】

2. 高大連携

本学は、埼玉県立幸手桜高等学校と高大連携協定を締結している。この協定は、高校及び大学が相互の信頼関係に基づき、教育及び研究機能について交流・連携を行い、高校教育・大学教育の活性化を図ることを目的としている。具体的内容は、幸手桜高等学校の学校評議員会や懇親会などの第三者評価に関する委員会に本学の教授が参加し、学校運営や教育活動について建設的な意見を提言している。また、令和5(2023)年度には、同校の生徒のみを対象とした「1日オープンキャンパス」を実施し、本学教員が大学の模擬講義を行い、本学の学生が大学生生活の説明を行った。【資料特-2-1、2】

埼玉県立岩槻商業高等学校とも連携し、「高校生の学習サポーター」として学生を派遣する事業を行っている。さらに同校とは令和6(2024)年度に協定を締結し、より高大連携活動を拡大していく予定である。【資料特-2-3、4】